

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 6月16日更新

事務事業名		民生委員推薦会運営事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部
	施策	17	生活困窮世帯の自立支援		所属課	福祉課
	基本事業	55	生活の支援		所属班	社会福祉班
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 1	事業連番 10546
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	民生委員推薦会委員の選出と委嘱。推薦会委員の任期は3年。通常年は欠員の推薦を行う。昭和23年に民生委員法が制定され、その第8条で民生委員推薦会の組織について規定されている。 ・民生委員の任期は3年となっており、平成22年度は改選の年であった。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①推薦会委員の選出②委嘱③地区からの推薦依頼及び推薦④報酬と費用弁償の支出。⑤推薦会を開催し、推薦者が民生委員として適当かを協議⑥県へ推薦⑦厚労省から委嘱状の交付
【主な予算費目】	報酬・費用弁償
【意見や要望】	・民生委員の選出にあたり、各地区の区長から任期や選出方法、民生委員の担当区域に対する問い合わせがある。 ・市からの民生・児童委員に対する業務依頼も増えてきている。 ・平成22年度の一斉改選の際に人口の増に伴い民生・児童委員の増員を行ったが、改選の年は定員の見直しも出てくる。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
・民生委員推薦会委員を役職で選出した方へ残任期間での委嘱を行なった。 ・民生委員推薦会を1回開催し、委員に対し報酬及び費用弁償を支払った。1回は持ち回りで実施。 ・解職伺いを受理し地区からの推薦者を県へ進達し、委嘱状の交付を行った。	平成22年度が一斉改選の年であったので、平成23年度は途中退任などの補充推薦を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 推薦会開催回数	回 民生委員関係の事業を統合
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
合志市民生委員推薦会委員	→ ア: 推薦委員の人数 人
	イ: 推薦会委員出席率 %
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
各地区から推薦された者が民生委員として適当かを判断し、県へ推薦する。	→ ア: 地区からの推薦者数 人
	イ: 各地区からの推薦者のうち適当と認められた者の割合 %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
平成22年度は一斉改選の年にあたり、4回の推薦会を実施予定。区長会への説明を実施。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	回	1	1	4	4	1	0	0
	イ								
② 対象指標	ア	人	8	8	8	8	8	0	0
	イ	%	100	100	90	90	0	0	0
③ 成果指標	ア	人	2	6	94	94	2	0	0
	イ	%	100	100	100	100	0	0	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円			4	4	394	
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	42	42	162	150	8,800		
人件費	(A) 事業費計	千円	42	42	166	154	9,194	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	104	97	26	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	4	3	3	0	0
	延べ業務時間	時間	35	60	60	50	35	0	0
(B) 人件費計		千円	140	238	238	206	144	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	182	280	404	360	9,338	0	0

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	民生委員推薦会運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)
 *原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 民生・児童委員協議会との連携が図られている。また、地域福祉の浸透により民生・児童委員の重要性が再確認されてきている。民生・児童委員の対象者の要件も緩和され、地域からの推薦も行いやすくなった。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 民生委員法第8条で推薦会の構成員の定義づけがされており、その中で適切に審査され県へ推薦しているため、適正に行われている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 推薦会は他に類似する事業はなく、また、単独であり統廃合・連携は出来ない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 民生委員法第14条の規定により「福祉事務所やその他関係行政機関の業務に協力すること」あり、用途の連係が必要不可欠であることから妥当である。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできるか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 地区からの候補者の推薦を効率的にあげてもらうことにより、推薦会の回数を削減できるが、改選年でないときの解職願いがでる場合があり、削減の余地はなし。また、持ち回りで決裁を受ける等を実施している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 民生委員法第8条で推薦会の構成員の定義づけがされており、公正公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 各階の代表者によって推薦会を行うので適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

H21年度は推薦会を1回開催し、その他については持ち回りを2回行い説明し承認をとった。民生・児童委員の任期と地区の区長との任期が異なり、対応のやり方等が不明の場合がある。一斉改選時だけでなく、平成21年度より年に1回程度は区長会にお知らせを行って行くこととした。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						